

コインベース グローバル A(COIN)

【セクター】 暗号資産取引所

信買

【市場】 NASDAQ

信売

【企業概要】

世界的大手の暗号資産取引所を運営する企業です。2021年、NASDAQ市場で暗号資産交換業を行う会社として初の上場を果たしました。同社取引所は、100カ国以上で展開、8割以上の取引が米国外で行われています(23.12末時点)。部門別売上高構成比は、暗号資産の交換手数料が49%、ステーキング(特定の暗号資産をブロックチェーンネットワークに預けて得られる報酬)やUSDC*の金利収入等を含むサブスクリプション・サービスが45%、その他が6%です(同)。

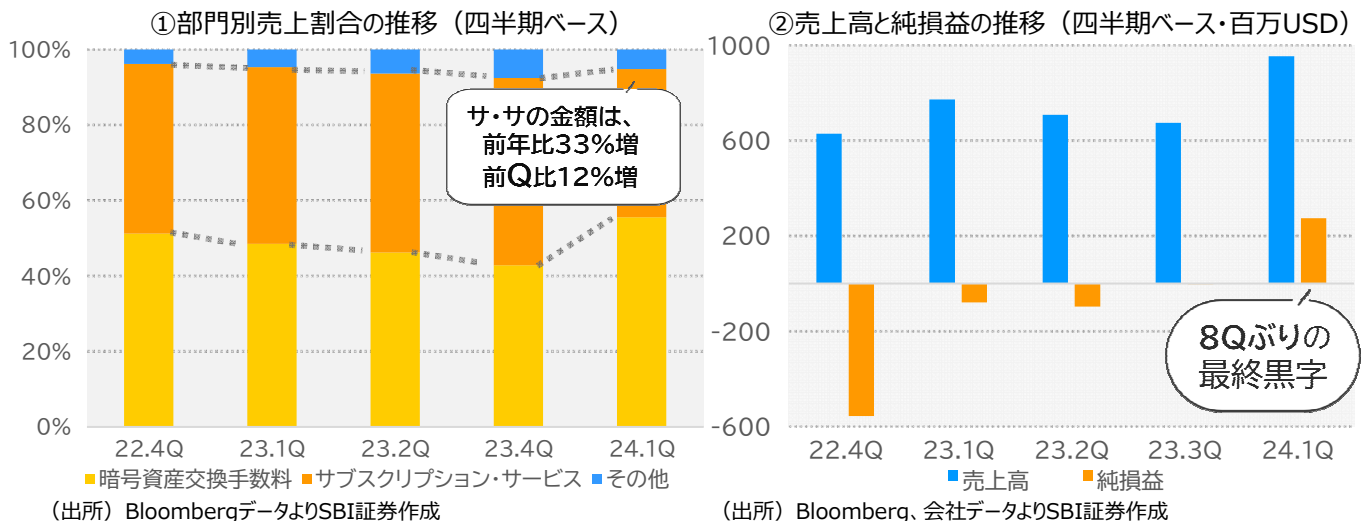
【業績】 (単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース)

決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
22.12期	3,194	-1,469	-6.63	0.00	23.6	-44.4	6.1
23.12期	3,108	435	1.71	0.00	26.0	1.6	3.0
24.12期(予)	4,285	553	1.39	-	24.7	9.3	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

(出所) BloombergのデータよりSBI証券作成

【主要指標】



【会社の見方】

創業来の稼ぎ頭は暗号資産交換による手数料収入でしたが、サブスクリプション・サービスでの安定的な収益増を目指しており、足元では上図①のように進んでいます。暗号資産のボラティリティの低下で取引量が減ると、業績に対して痛手となる傾向があります。保有暗号資産の増加と金利上昇で、金利収入(USDC*等)やステーキング報酬が業績に与える影響が増大中です。また、米短期金利が低下した場合、収益性に悪影響を及ぼすと同社は述べています。1月にビットコイン現物ETFが承認され、プラスとマイナス両方の影響が予想されます。(*USDC:サークル社と共同で発行したステーブルコイン。ゴールドマンサックスが出資。)

【見通し・注目点】

23.12期4Q(10-12月期)決算は、売上高が9.5億ドル、調整後EPSは1.04ドル、調整後EBITDAは3.05億ドルと、いずれも市場予想を上振れたのに加え、8四半期ぶりの最終黒字を達成。暗号資産価格の上昇が後押し、交換手数料による収入が前Q比83%増まで急増しました。会社側は24.3期1Q(1-3月期)のサブスクリプション・サービスの予想売上(中央値)に対し、2/13時点で70%超の水準まで達していると報告しています。

本レポートに関するご注意事項

- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。